

個別施設一覧表(林道橋)

個別施設 整理番号	林道台帳 索引番号	路線名	林道種類 及び区分	橋梁名	所在地	起点から の距離 (km)	建設 年度	供用年数 (2023年)	種別	型式	道路橋 示方書	橋格 (設計 荷重)	橋下 条件	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工 型式	橋台工 型式	橋脚工 型式	海岸から の距離 (km)	施設の現況			計画内容				優先度	措置記録					備考			
																				点検実施 年月日	判定 区分	所見等	計画 期間	内容		実施 予定時期		対策費用 (百万円)	実施 年月日	内容		再判定実施 年月日		再判定 区分		
																								分類	概要 (数量)					分類	概要 (数量)					
1	R0001	1	龍王山線	自動車道1級 龍王山1号橋	東広島市西条町	1.0	不明	不明	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	普通河川	6.7	6.2	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.14	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
2	R0002	5	本峠一号線	自動車道2級 本峠1号橋	東広島市八本松町	0.8	不明	不明	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	砂防河川	5.5	4.3	RC中実床版	重力式	無	-	R2.8.7	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
3	R0003	5	本峠一号線	自動車道2級 本峠2号橋	東広島市八本松町	1.2	1968	55	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	砂防河川	5.2	4	RC中実床版	重力式	無	-	R2.8.7	III	床版全体にうき・たわみ	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
4	R0004	8	岡野原線	自動車道2級 岡野原1号橋	東広島市八本松町	0.1	1969	54	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	普通河川	6.8	4.7	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.14	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
5	R0005	8	岡野原線	自動車道2級 岡野原2号橋	東広島市八本松町	0.4	不明	不明	BOX	BOX	不明	不明	普通河川	2.8	6.7	BOX	BOX	無	-	R2.9.14	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
6	R0007	1	桑井線	自動車道3級 桑井橋	東広島市高屋町	0.1	1963	60	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	普通河川	7.9	4.3	RCT桁橋	重力式	無	-	R2.9.8	II	床版全体に水の浸透跡	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
7	R0008	1	桑井線	自動車道3級 湯船橋	東広島市高屋町	1.2	1965	58	コンクリート橋	KB橋	不明	不明	普通河川	6	3	RC床版橋	不明	無	-	被災のため未調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	R0011	9	寺迫線	自動車道3級 寺迫1号橋	東広島市河内町	0.0	1986	37	鋼橋	SG橋	不明	不明	二級河川	11	3	鋼製H桁橋(非合成)	不明	無	-	R2.9.10	II	桁全体に錆	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
9	R0012	9	寺迫線	自動車道3級 寺迫2号橋	東広島市河内町	0.2	1987	36	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	普通河川	4.9	3.5	RC中実床版	不明	無	-	R2.9.10	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
10	R0013	13	竹林寺線	自動車道1級 冬橋	東広島市河内町	1.8	2000	23	鋼橋	SR橋	不明	不明	普通河川	87.7	11	鋼製ラーメン橋	逆T式	ラーメン式	-	R2.9.24	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
11	R0014	13	竹林寺線	自動車道1級 秋橋	東広島市河内町	2.0	2000	23	コンクリート橋	PC橋	不明	不明	普通河川	42.9	11	PC箱桁橋	逆T式	無	-	R2.9.24	II	床版下面にひび割れ	R3~R7	点検	-	R7	0.465	中								
12	R0015	13	竹林寺線	自動車道1級 夏橋	東広島市河内町	2.2	1998	25	鋼橋	SA橋	不明	不明	跨道橋 普通河川	103.5	11	鋼製アーチ橋	逆T式	T型	-	R2.9.23	II	床版・鋼板・桁に腐食跡・遊離石灰跡	R3~R7	点検	-	R7	0.465	中								
13	R0016	13	竹林寺線	自動車道1級 春橋	東広島市河内町	3.0	1995	28	コンクリート橋	PC橋	不明	不明	普通河川	100.4	11	ポステンT桁	逆T式	T型	-	R2.9.23	II	主桁にひび割れ、舗装にひび割れ	R3~R7	点検	-	R7	0.465	中								
14	R0017	3	糸谷線	自動車道2級 糸谷1号橋	東広島市安芸津町	0.2	1969	54	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	砂防河川	4.5	4	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.15	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
15	R0018	3	糸谷線	自動車道2級 糸谷2号橋	東広島市安芸津町	0.4	1969	54	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	普通河川	6	4	RC中実床版	重力式	無	-	R6.3.15	I	-	R6~R10	点検	-	R10	0.465		R6.3.15	補修	断面修復工 V=0.2m3	6.35	R6.3.15	I		
16	R0019	3	糸谷線	自動車道2級 糸谷3号橋	東広島市安芸津町	1.3	1969	54	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	普通河川	4	3.9	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.15	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
17	R0021	6	神谷線	軽車道 神谷1号橋	東広島市安芸津町	0.7	1960	63	BOX	BOX	不明	不明	普通河川	2.3	3.7	BOX	BOX	無	-	R2.9.16	III	基礎部の洗掘	R3~R7	補修	補修設計 根固工	R6 R7	1.200 6.000	高								
18	R0022	7	水無線	軽車道 水無1号橋	東広島市安芸津町	0.3	1978	45	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	普通河川	7	3.1	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.16	II	基礎部の洗掘	R3~R7	補修	補修設計 根固工	R6 R7	1.200 5.000	高								
19	R0023	15	風早小松原線	自動車道1級 審麻呂橋	東広島市安芸津町	0.0	1994	29	コンクリート橋	PC橋	不明	不明	二級河川	12.9	6	プレテン箱桁	逆T式	無	1.4	R2.9.16	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
20	R0024	7	大谷線	自動車道2級 大谷1号橋	東広島市福富町	0.5	1970	53	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	普通河川	7	3.9	RCT桁橋	重力式	無	-	R2.9.3	III	基礎部の洗掘、桁に鉄筋露出	R3~R7	補修	補修設計 根固工 断面修復工	R6 R7	1.198 7.000	高								
21	R0025	7	大谷線	自動車道2級 大谷2号橋	東広島市福富町	0.7	1973	50	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	普通河川	6.6	4.5	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.3	II	床版下面に局所的な鉄筋露出	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
22	R0026	8	黒ボヤ線	自動車道2級 高見橋	東広島市福富町	0.1	1964	59	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	二級河川	6.6	4.2	RCT桁橋	重力式	無	-	R2.9.1	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
23	R0027	8	黒ボヤ線	自動車道2級 黒ボヤ橋	東広島市福富町	0.8	1965	58	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	二級河川	7.4	3.7	RCT桁橋	重力式	無	-	R2.9.1	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
24	R0028	10	傍原谷線	自動車道2級 傍原谷1号橋	東広島市福富町	0.1	1961	62	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	普通河川	5	3.9	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.3	III	床版下面にうき、剥離鉄筋露出、漏水跡	R3~R7	補修	補修設計 断面修復工 橋面防水工	R6 R7	1.198 7.000	高								
25	R0029	10	傍原谷線	自動車道2級 傍原谷2号橋	東広島市福富町	0.3	1961	62	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	普通河川	4.9	3.9	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.3	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
26	R0030	13	鷹の巣線	自動車道2級 鷹の巣1号橋	東広島市福富町	0.3	1981	42	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	砂防河川	4.6	5.2	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.1	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
27	R0031	13	鷹の巣線	自動車道2級 鷹の巣2号橋	東広島市福富町	0.4	1981	42	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	砂防河川	4.7	4.2	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.2	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
28	R0032	13	鷹の巣線	自動車道2級 鷹の巣3号橋	東広島市福富町	0.7	1981	42	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	砂防河川	4.8	4	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.1	II	床版下面に漏水跡、豆板、鉄筋露出	R3~R7	点検	-	R7	0.465	中								
29	R0033	13	鷹の巣線	自動車道2級 鷹の巣4号橋	東広島市福富町	1.2	1982	41	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	砂防河川	4.5	4	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.1	II	基礎部に洗掘	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
30	R0034	9	布谷線	自動車道2級 布谷1号橋	東広島市福富町	0.1	1958	65	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	砂防河川	5.4	4.1	RC中実床版	重力式	無	-	R6.3.26	I	-	R6~R10	点検	-	R10	0.465		R6.3.26	補修	断面修復工 V=0.1m3	2.95	R6.3.26	I		
31	R0035	9	布谷線	自動車道2級 布谷2号橋	東広島市福富町	0.3	1958	65	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	砂防河川	5.3	4.4	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.2	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
32	R0037	9	布谷線	自動車道2級 布谷4号橋	東広島市福富町	0.7	1958	65	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	砂防河川	5	4.2	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.2	III	床版にうき、鉄筋露出、漏水跡	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								
33	R0038	9	布谷線	自動車道2級 布谷5号橋	東広島市福富町	1.3	1958	65	コンクリート橋	RC橋	不明	不明	砂防河川	4.9	4.3	RC中実床版	重力式	無	-	R2.9.2	I	-	R3~R7	点検	-	R7	0.465	低								

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0001	林道台帳整理番号	1	施設管理者	東広島市
路線名	龍王山			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	龍王山1号橋			建設年度	不明
施設の所在地	東広島市西条町			起点からの距離	1.0km
供用年数	不明	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.7m (m)	
		幅員(車道幅員)	6.2m (4.8 m)	
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版	
			鋼製(使用鋼材)	無
			支承型式	ゴム支承
			塗装使用の有無	無
		落橋防止の有無	無	
		下部工型式	橋台工型式	重力式
			橋脚工型式	無
	基礎型式		不明	
海岸からの距離	-			
施設の目的 利用実態等	公園への道路			

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年9月14日
	調査結果	起点側背面の舗装に段差20mmが認められる。背面土の沈下に伴う影響と考察される。 排水管は全体に軽微な減厚を伴う腐食が認められる。経年に伴う劣化で、施工時から塗替えを施した 形跡もなく塗料の耐久年数を超えている可能性が高い。	
	健全性の 診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態
	劣化原因	⑥経年劣化	

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	R3 年度	~	R7 年度
	内容	①その他(舗装段差修正・高欄再塗装)		
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和3~6年度に実施する。		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。	
	対策費用 (概算)	①その他(舗装段差修正・高欄再塗装)		
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。			

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点 検					定期点 検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0002	林道台帳整理番号	5	施設管理者	東広島市
路線名	本峠一号			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	本峠1号橋			建設年度	不明
施設の所在地	東広島市八本松町			起点からの距離	0.8km
供用年数	不明	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.5m (m)	
		幅員(車道幅員)	4.3m (3.9 m)	
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版	
			鋼製(使用鋼材)	無
			支承型式	有
			塗装使用の有無	無
		落橋防止の有無	無	
		下部工型式	橋台工型式	重力式
			橋脚工型式	無
	基礎型式		不明	
海岸からの距離	-			
施設の目的利用実態等	陸上自衛隊原村演習場内及び原財産区の山林内の道路			

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年8月7日
	調査結果	床版下面にかぶり不足に伴う、局所的な剥離鉄筋露出が認められる。 起点側橋梁背面の舗装に100mmの段差が認められる。背面土の沈下に伴う影響と考察される。 路面には植生を伴う土砂堆積が見られ、滞水を促し漏水を伴っていると考察される。	
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態
	劣化原因	⑦その他	

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度	~	R7 年度
	内容	①その他(段差修正・土砂撤去)		
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和3~6年度に実施する。		
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。	
	対策費用(概算)	①その他(段差修正・土砂撤去)		
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。			

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0003	林道台帳整理番号	5	施設管理者	東広島市
路線名	本峠一号			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	本峠2号橋			建設年度	S43
施設の所在地	東広島市八本松町			起点からの距離	1.2km
供用年数	52	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.2m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.0m (4.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
			落橋防止の有無	無		
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的利用実態等	陸上自衛隊原村演習場内及び原財産区の山林内の道路					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年8月7日		
	調査結果	床版全体にうきを生じ、たわみが認められる。路面の土砂堆積に伴う滞水、桁下の狭隘な環境下に伴う鉄筋腐食にてうきを生じ、耐荷性能が低下していると考察される。路面には植生を伴う土砂堆積が見られ、滞水を促している。止水性能の低下で損傷が進展したと考察される。			
	健全性の診断結果	III (早期措置段階)	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①断面修復工②その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	早期に対策を実施することが望ましいが、当該路線の被災状況や利用状況から総合的に判断し、対策は保留する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 利用者が限定的であるため、優先度は低とした。		
	対策費用(概算)	①断面修復工②その他(土砂撤去)			
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0004	林道台帳整理番号	8	施設管理者	東広島市
路線名	岡野原			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	岡野原1号橋			建設年度	S44
施設の所在地	東広島市八本松町			起点からの距離	0.1km
供用年数	51	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.8m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.7m (4.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	近隣地域の生活道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月14日		
	調査結果	橋台前面に伸縮部からの漏水が認められる。経年に伴う目地材の劣化の影響と考察される。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑥経年劣化			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①その他(ガードレール交換)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和3~6年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(ガードレール交換)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0005	林道台帳整理番号	8	施設管理者	東広島市
路線名	岡野原			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	岡野原2号橋			建設年度	不明
施設の所在地	東広島市八本松町			起点からの距離	0.4km
供用年数	不明	種別	BOX	型式	BOX
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.8m (m)			
		幅員(車道幅員)	6.7m (6.3 m)			
	施設の構造等	上部工型式	BOX			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	BOX		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	近隣地域の生活道					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年9月14日		
	調査結果	床版に0.2mm以下の乾燥収縮に伴うひび割れが認められる。 側壁に0.2mm以下の初期沈下に伴う、セパからのひびわれが認められる。 舗装に一方方向のひびわれが認められる。舗装強度の低下に及ぶ損傷ではないが、走行性、止水性能の低下が懸念される。			
	健全性の 診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑥経年劣化			

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	経過観察			
	実施予定時期	損傷箇所は見られないため当面の間は保全整備を実施しない。(定期点検のみ実施)			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用 (概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点 検					定期点 検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0007	林道台帳整理番号	1	施設管理者	東広島市
路線名	桑井			林道種類及び区分	自動車道3級
橋梁名	桑井橋			建設年度	S38
施設の所在地	東広島市高屋町			起点からの距離	0.1km
供用年数	57	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.9m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.3m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RCT桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月8日		
	調査結果	床版全体に水の浸透跡が見られ、つらら状の遊離石灰が認められる。路面は土砂が堆積し、滞水による水の浸透に伴い遊離石灰を生じたと考察される。伸縮部からの漏水が認められる。路面には植生を伴う土砂堆積が見られ、滞水、土砂化を促しており、床版損傷を助長している。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑥経年劣化			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和3~6年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(土砂撤去)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日:

個別施設整理番号	R0008	林道台帳整理番号	1	施設管理者	東広島市
路線名	桑井			林道種類及び区分	自動車道3級
橋梁名	湯船橋【被災】			建設年度	S40
施設の所在地	東広島市高屋町			起点からの距離	1.2km
供用年数		種別	コンクリート橋	型式	KB橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.0m (6.0 m)		
		幅員(車道幅員)	3.0m (3.0 m)		
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋		
			鋼製(使用鋼材)	無	
			支承型式	無	
			塗装使用の有無	無	
		落橋防止の有無	無		
		下部工型式	橋台工型式	不明	
			橋脚工型式	無	
	基礎型式		不明		
	海岸からの距離	-			
施設の目的 利用実態等	山林の管理道				

施設の状態等の概要	点検診断日	M33	
	調査結果		
	健全性の診断結果	()	#VALUE!
	劣化原因		

長寿命化計画の内容	計画期間	M33 年度 ~ #VALUE! 年度
	内容	
	実施予定時期	
	施設の優先度	(優先度の考え方)
	対策費用(概算)	
管理方法		

年度	M33	M34	M35	M36	M37	M38	M39	M40	M41	M42	備考
対策費用(千円)	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	#####	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0011	林道台帳整理番号	9	施設管理者	東広島市
路線名	寺迫			林道種類及び区分	自動車道3級
橋梁名	寺迫1号橋			建設年度	S61
施設の所在地	東広島市河内町			起点からの距離	
供用年数	34	種別	鋼橋	型式	SG橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	二級河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.0m (2.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	鋼製H桁橋(非合成)			
			鋼製(使用鋼材)	有		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	有		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	不明		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月10日		
	調査結果	主桁・横桁全体に減厚を伴う錆が認められる。経年劣化で、施工時から塗替えを施した形跡はなく塗膜の耐用年数を超えていると考察される。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑥経年劣化⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①その他(土砂撤去・支保工交換)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和3~6年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 利用者が限定的であるため、優先度は低とした。		
	対策費用(概算)				
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0012	林道台帳整理番号	9	施設管理者	東広島市
路線名	寺迫			林道種類及び区分	自動車道3級
橋梁名	寺迫2号橋			建設年度	S62
施設の所在地	東広島市河内町			起点からの距離	0.2km
供用年数	33	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.9m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.5m (3.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	不明		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
施設の利用実態等	海岸からの距離	-				
施設の目的	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月10日		
	調査結果	床版全体に水滴を伴う水の浸透跡が認められる。路面の土砂堆積にて滞水を伴い浸透が要因と考察される。路面は植生を伴う土砂堆積、伸縮部からの漏水、土砂にて排水管の詰りが認められる。床版下面の漏水跡を踏まえ、止水性能の低下が懸念される。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度	~	R7 年度				
	内容	①その他(土砂撤去)						
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和3~6年度に実施する。						
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。					
	対策費用(概算)	①その他(土砂撤去)						
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。							

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0013	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	竹林寺			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	冬橋			建設年度	H12
施設の所在地	東広島市河内町			起点からの距離	1.8km
供用年数	20	種別	鋼橋	型式	SR橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	87.7m (m)			
		幅員(車道幅員)	11.0m (8.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	鋼製ラーメン橋			
			鋼製(使用鋼材)	有		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	有		
		落橋防止の有無	有			
		下部工型式	橋台工型式	逆T式		
			橋脚工型式	ラーメン式		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年9月24日		
	調査結果	床版下面の排水管基部へ遊離石灰を伴うひびわれ、また方杖部斜材や横桁に防食機能の劣化が認められる。 歩道舗装部に連続する直角方向ひび割れが認められる。規則的であり舗装下面モルタル部の目地調整部に沿ったリフレクションクラックと考察される			
	健全性の 診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑤鋼材の腐食劣化			

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	経過観察			
	実施予定時期	損傷箇所は見られないため当面の間は保全整備を実施しない。(定期点検のみ実施)			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方)		
	対策費用 (概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点 検					定期点 検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0014	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	竹林寺			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	秋橋			建設年度	H12
施設の所在地	東広島市河内町			起点からの距離	2.0km
供用年数	20	種別	コンクリート橋	型式	PC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	42.9m (m)			
		幅員(車道幅員)	11.0m (8.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	PC箱桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	逆T式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年9月24日		
	調査結果	床版下面に局部的につらら状の遊離石灰を伴うひび割れが認められ、貫通ひび割れを生じている可能性が高い。錆汁等は認められないが、損傷上部は歩道部であり境界ブロックとの境界部から橋面水が浸透していると考察される。			
	健全性の 診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑧不明			

長寿命 化計画 の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①漏水詳細調査②橋面防水工③その他(排水柵土砂撤去)			
	実施予定時期	令和8年度補修設計を実施し、令和9年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 健全度IIのため、次回点検(R7)後、補修する。		
	対策費用 (概算)	①橋面防水工②その他(排水柵土砂撤去)			
管理方法	健全度IIのため、次回点検(R7)後、補修を行う。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465	500	8,500			465	
対策の内容					定期点 検	補修設 計	橋面防 水工			定期点 検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0015	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	竹林寺			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	夏橋			建設年度	H10
施設の所在地	東広島市河内町			起点からの距離	2.2km
供用年数	22	種別	鋼橋	型式	SA橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	道橋(市道)、普通河

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	103.5m (m)			
		幅員(車道幅員)	11.0m (8.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	鋼製アーチ橋			
			鋼製(使用鋼材)	有		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	有		
		落橋防止の有無	有			
		下部工型式	橋台工型式	逆T型		
			橋脚工型式	T型		
	基礎型式		不明			
施設の利用実態等	海岸からの距離	-				
施設の目的	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月23日		
	調査結果	合成床版(鋼板)スタッド部、鋼板接合部、桁端部から腐食跡および遊離石灰跡が認められる。現状は局部的であり耐荷性能への影響は低い、橋面水の浸透に伴う影響と考察され、鋼板にて滞水を生じやすいため進展性が懸念される。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑧不明			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①漏水詳細調査②橋面防水工③伸縮装置更新			
	実施予定時期	令和8年度補修設計を実施し、令和9年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 健全度 II のため、次回点検(R7)後、補修する。		
	対策費用(概算)	①橋面防水工②伸縮装置更新			
管理方法	健全度 II のため、次回点検(R7)後、補修を行う。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465	500	8,500			465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検	補修設計	橋面防水工 伸縮装置更新			定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0016	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	竹林寺			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	春橋			建設年度	H7
施設の所在地	東広島市河内町			起点からの距離	3.0km
供用年数	25	種別	コンクリート橋	型式	PC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	100.4m (m)			
		幅員(車道幅員)	11.0m (8.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	ポステンT桁			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	逆T式		
			橋脚工型式	T型		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年9月23日		
	調査結果	主桁側面にPC鋼材に沿ったひび割れから遊離石灰が認められる。施工時のグラウト充填不良に伴う影響と考察される。錆汁等は認められないが、漏水は現状も認められる。舗装面に格子状のひびわれが認められる。舗装面補修後の再劣化も見られ、床版上面の損傷も懸念される。間詰部からの漏水もあるため止水性能の低下も懸念される。			
	健全性の 診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命 化計画 の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①PC鋼材詳細調査②橋面防水工			
	実施予定時期	令和8年度補修設計を実施し、令和10年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 健全度IIのため、次回点検(R7)後、補修する。		
	対策費用 (概算)	①グラウト注入			
管理方法	健全度IIのため、次回点検(R7)後、補修を行う。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465	500		8,500		465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点 検	補修設 計		グラウ ト注入		定期点 検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0017	林道台帳整理番号	3	施設管理者	東広島市
路線名	糸谷			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	糸谷1号橋			建設年度	S44
施設の所在地	東広島市安芸津町			起点からの距離	0.2km
供用年数	51	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.5m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.0m (3.7 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月15日		
	調査結果	床版下面にかぶり不足に伴う、局部的な鉄筋露出、豆板が認められる。 路面は土砂堆積、伸縮部からの漏水が認められる。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和3~6年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(土砂撤去)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0018	林道台帳整理番号	3	施設管理者	東広島市
路線名	糸谷			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	糸谷2号橋			建設年度	S44
施設の所在地	東広島市安芸津町			起点からの距離	0.4km
供用年数	51	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書		橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.0m (3.7 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R6	令和6年3月15日		
	調査結果	令和5年度に補修工事完了。(検査日:令和6年3月15日)			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因				

長寿命化計画の内容	計画期間	R6 年度 ~ R10 年度			
	内容				
	実施予定時期				
	施設の優先度	(優先度の考え方)			
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和10年度)				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)		1,192	5,155					465			※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容		補修設計	断面修復工等					定期点検			

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0019	林道台帳整理番号	3	施設管理者	東広島市
路線名	糸谷			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	糸谷3号橋			建設年度	S44
施設の所在地	東広島市安芸津町			起点からの距離	1.3km
供用年数	51	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.9m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月15日		
	調査結果	路面は洗出しに伴う骨材の露出、土砂堆積が認められる。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和3~6年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(土砂撤去)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0021	林道台帳整理番号	6	施設管理者	東広島市
路線名	神谷			林道種類及び区分	軽車道
橋梁名	神谷1号橋			建設年度	S35
施設の所在地	東広島市安芸津町			起点からの距離	0.7km
供用年数	60	種別	BOX	型式	BOX
道路橋示方書		橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.3m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.7m (3.7 m)			
	施設の構造等	上部工型式	BOX			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	BOX		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年9月16日		
	調査結果	床下下面にかぶり不足に伴う、局部的な鉄筋露出が認められる。 吐口側において底版および側壁背面基礎土の流失が認められる。流水に伴う吸出しの影響と考察される。 路面は植生を伴う土砂体積が認められる。			
	健全性の 診断結果	Ⅲ (早期措置段階)	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①根固工②断面修復工③その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	令和6年度補修設計を実施し、令和7年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 橋台洗堀により早急な対応が必要である。		
	対策費用(概算)	①根固工②断面修復工③その他(土砂撤去)			
管理方法	長寿命化対策として橋台の根固工を早期に実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)				1,200	6,000					465	
対策の内容				補修設計	根固工等					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0022	林道台帳整理番号	7	施設管理者	東広島市
路線名	水無			林道種類及び区分	軽車道
橋梁名	水無1号橋			建設年度	S53
施設の所在地	東広島市安芸津町			起点からの距離	0.3km
供用年数	42	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書		橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.1m (2.7 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月16日		
	調査結果	A2橋台基礎部に20cmの局所的な洗堀が認められる。路肩に植生を伴う土砂堆積が認められる。終点側橋梁背面舗装が路面より30mm高く、段差が認められる。オーバレイに伴う施工不良と考察される。			
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①根固工②その他(土砂撤去・目地材充填)			
	実施予定時期	令和6年度補修設計を実施し、令和7年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 橋台洗堀により早急な対応が必要である。		
	対策費用(概算)	①根固工②その他(土砂撤去)			
管理方法	長寿命化対策として橋台の根固工を早期に実施する。定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)				1,200	5,000					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容				補修設計	根固工等					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0023	林道台帳整理番号	15	施設管理者	東広島市
路線名	風早小松原線			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	審麻呂橋			建設年度	H6
施設の所在地	東広島市安芸津町			起点からの距離	
供用年数	26	種別	コンクリート橋	型式	PC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	二級河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.9m (m)			
		幅員(車道幅員)	6.0m (5.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	プレテン箱桁			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	不明			
		下部工型式	橋台工型式	逆T式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	1.4km				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年9月16日		
	調査結果	床版間詰部からの漏水および軽微な遊離石灰が認められるが、錆汁等は見られない。 起点側橋梁背面の舗装に30mmの段差が認められる。背面土の沈下に伴う影響と考察される。			
	健全性の 診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑥経年劣化			

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①その他(段差修正)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和3~6年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用 (概算)	①その他(段差修正)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点 検					定期点 検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0024	林道台帳整理番号	7	施設管理者	東広島市
路線名	大谷			林道種類及び区分	第2種自動車道2級
橋梁名	大谷1号橋			建設年度	S45
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.5km
供用年数	50	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書		橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.9m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RCT桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年9月3日		
	調査結果	横桁に減厚を伴う鉄筋露出が認められる。原因は伸縮からの漏水に伴う水掛りと考察される。橋台の基礎部付近に広範囲の欠損が認められる。基礎部においては、型枠が残存することから、洗堀対策を施した形跡が認められるが、再劣化を生じたと考察され、著しく洗堀が認められる。路面は洗出しによる表面脆化にて骨材の露出が認められる。			
	健全性の 診断結果	Ⅲ (早期措置段階)	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態		
	劣化原因	⑦その他⑧不明			

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①根固工②断面修復工③その他(土砂撤去・目地材充填)			
	実施予定時期	令和6年度補修設計を実施し、令和7年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 橋台洗堀により早急な対応が必要である。		
	対策費用 (概算)	①根固工②断面修復工③その他(土砂撤去・目地材充填)			
管理方法	長寿命化対策として橋台の根固工を早期に実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)				1,198	7,000					465	
対策の内容				補修設計	根固工等					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0025	林道台帳整理番号	7	施設管理者	東広島市
路線名	大谷線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	大谷2号橋			建設年度	S48
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.7km
供用年数	47	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.6m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.5m (4.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
施設の利用実態等	海岸からの距離	-				
施設の目的	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月3日		
	調査結果	床版下面にかぶり不足に伴う、局部的な鉄筋露出が広範囲に認められる。路面は植生を伴う土砂堆積が認められる。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①断面修復工②その他(土砂撤去・目地材充填)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、その他補修は令和3~6年度に実施する。断面修復工事については、次回点検(R7)以降に対応していく。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①断面修復工②その他(土砂撤去・目地材充填)			
管理方法	軽微損傷は維持管理において実施する。断面修復工事は、次回点検(R7)後、補修を行う。定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465	500			8,500	465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検	補修設計			断面修復工	定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0026	林道台帳整理番号	8	施設管理者	東広島市
路線名	黒ボヤ線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	高見橋			建設年度	S39
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.1km
供用年数	56	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	二級河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.6m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.2m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RCT桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年9月1日		
	調査結果	主桁・横桁と床版の境界部からの漏水に伴う遊離石灰が認められる。境界部は乾燥収縮にてひびわれを生じやすい部位であり、橋面水の浸透に伴う影響と考察される。A1橋台側部のひびわれは乾燥収縮ひびわれに伝い水が浸透し遊離石灰を生じたと考察される。A2橋台打継ぎ部コールドジョイントに伴う漏水跡が認められる。			
	健全性の 診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	経過観察			
	実施予定時期	損傷箇所は見られないため当面の間は保全整備を実施しない。(定期点検のみ実施)			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用 (概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点 検					定期点 検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0027	林道台帳整理番号	8	施設管理者	東広島市
路線名	黒ボヤ線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	黒バヤ橋			建設年度	S40
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.8km
供用年数	55	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	二級河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.4m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.7m (3.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RCT桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
施設の利用実態等	海岸からの距離	-				
施設の目的	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月1日		
	調査結果	床版に局所的な剥離鉄筋露出、ひびわれからの遊離石灰が認められる。A2橋台にひびわれからの遊離石灰が認められる。舗装にポットホール、一方向ひび割れが認められる。床版下面に遊離石灰が認められ、止水性能の低下が懸念される。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑥経年劣化⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	経過観察			
	実施予定時期	損傷箇所は見られないため当面の間は保全整備を実施しない。(定期点検のみ実施)			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(舗装修繕)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0028	林道台帳整理番号	10	施設管理者	東広島市
路線名	傍原谷			林道種類及び区分	第2種自動車道2級
橋梁名	傍原谷1号橋			建設年度	S36
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.1km
供用年数	59	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書		橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.9m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月3日		
	調査結果	床版下面全域にうきを生じ、広範囲に減厚を伴う剥離鉄筋露出が認められる。漏水跡が認められ、橋面水の浸透に伴う影響と考察される。 A2橋台側の凹凸は背面道路のオーバーレイによる施工不良の可能性が高い。また、A1橋台側においてCO舗装にうきが生じている。舗装下の床版損傷を生じている可能性がある。			
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期措置段階)	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①耐荷性能照査②その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	令和6年度補修設計を実施し、令和7年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 損傷が顕著であり早急な対応が必要である。		
	対策費用(概算)	①断面修復工②橋面防水工			
管理方法	長寿命化対策として床版の補修を早期に実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)				1,198	7,000					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容				補修設計	断面修復工等					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0029	林道台帳整理番号	10	施設管理者	東広島市
路線名	傍原谷線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	傍原谷2号橋			建設年度	S36
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.3km
供用年数	59	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.9m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.9m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月3日		
	調査結果	A1橋台前面にコールドジョイントからの遊離石灰が認められる。錆汁跡はない。路面に土砂堆積、一方向ひび割れが認められる。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	経過観察			
	実施予定時期	損傷箇所は見られないため当面の間は保全整備を実施しない。(定期点検のみ実施)			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方)		
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0030	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	鷹の巣線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	鷹の巣1号橋			建設年度	S56
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.3km
供用年数	39	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.6m (m)			
		幅員(車道幅員)	5.2m (4.2 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月1日		
	調査結果	床版下面に水の浸透に伴う遊離石灰跡が認められる。路面はひびわれ、ポットホールが認められており、止水性能の低下が懸念される。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①その他(舗装修繕)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和3~6年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(舗装修繕)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0031	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	鷹の巣線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	鷹の巣2号橋			建設年度	S56
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.4km
供用年数	39	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.7m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.2m (3.8 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年9月2日		
	調査結果	床版下面に水の浸透に伴う漏水跡が認められる。路面は土砂の堆積が認められ、止水性能の低下が懸念される。 起点側橋梁背面の舗装に50mmの段差が認められる。			
	健全性の 診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①その他(橋台背面土補充、土砂撤去)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和3~6年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用 (概算)	①その他(橋台背面土補充、土砂撤去)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点 検					定期点 検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0032	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	鷹の巣線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	鷹の巣3号橋			建設年度	S56
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.7km
供用年数	39	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.8m (m)	
		幅員(車道幅員)	4.0m (3.6 m)	
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版	
			鋼製(使用鋼材)	無
			支承型式	有
			塗装使用の有無	無
		落橋防止の有無	無	
		下部工型式	橋台工型式	重力式
			橋脚工型式	無
	基礎型式		不明	
海岸からの距離	-			
施設の目的 利用実態等	山林の管理道			

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月1日
	調査結果	床版下面に漏水跡、豆板、鉄筋露出が認められる。漏水跡が全体に見られ、著しい豆板が認められるため、豆板が全域におよぶ可能性がある。 舗装に経年に伴うひびわれが認められる。床版下面に漏水も認められ、止水性能の低下が懸念される。	
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
	劣化原因	⑥経年劣化	

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度	~	R7 年度
	内容	①断面修復工②橋面防水工		
	実施予定時期	令和4年度補修設計を実施し、令和6年度に補修工事対応する。		
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 健全度IIのため、次回点検(R7)後、補修する。	
	対策費用(概算)	①断面修復工②橋面防水工		
管理方法	健全度IIのため、次回点検(R7)後、補修を行う。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。			

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465	500			8,500	465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検	補修設計			断面修復工 橋面防水工	定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0033	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	鷹の巣線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	鷹の巣4号橋			建設年度	S57
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	1.2km
供用年数	38	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.5m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.0m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月1日		
	調査結果	下流側基礎部に吸出しに伴う洗堀が認められる。橋梁部と若干外れた位置にあり、直ちに橋梁の耐荷力への影響を生じる可能性は低い。 起点側橋梁背面の舗装に20mmの段差が認められる。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①根固工②その他(段差修正)			
	実施予定時期	令和6年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全度IIのため、次回点検(R7)後、補修する。		
	対策費用(概算)	①根固工②その他(段差修正)			
管理方法	健全度IIのため、次回点検(R7)後、補修を行う。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465	500			5,000	465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検	補修設計			根固工	定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0034	林道台帳整理番号	9	施設管理者	東広島市
路線名	布谷			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	布谷1号橋			建設年度	S33
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.1km
供用年数	62	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書		橋格(設計荷重)		橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.4m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.1m (3.8 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R6	令和6年3月26日		
	調査結果	令和5年度に補修工事完了。(検査日:令和6年3月26日)			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因				

長寿命化計画の内容	計画期間	R6 年度 ~ R10 年度			
	内容				
	実施予定時期				
	施設の優先度	(優先度の考え方)			
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和10年度)				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)		1,192	1,758					465			※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容		補修設計	断面修復工等					定期点検			

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0035	林道台帳整理番号	9	施設管理者	東広島市
路線名	布谷線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	布谷2号線			建設年度	S33
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.3km
供用年数	62	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.3m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.4m (4.1 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年9月2日		
	調査結果	床版下面下流側に局部的なうきが認められる。側面からの伝い水の影響と考察される。A2橋台前面に0.3mm以下の乾燥収縮に伴うひびわれが認められる。路面には植生を伴う土砂堆積が見られ滞水を促しており、止水性能の低下が懸念される。			
	健全性の 診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	当該路線の被災状況や利用状況から総合的に判断し、対策は保留する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用 (概算)	①その他(土砂撤去)			
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点 検					定期点 検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0037	林道台帳整理番号	9	施設管理者	東広島市
路線名	布谷線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	布谷4号線			建設年度	S33
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.7km
供用年数	62	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.2m (3.9 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年9月2日		
	調査結果	床版に広範囲のうき、減厚を伴う鉄筋露出、浸透水に伴う漏水跡が認められる。路面は土砂が堆積し、滞水による浸透水の影響と考察される。路面には植生を伴う土砂堆積が見られ滞水を促しており、止水性能の低下が懸念される。			
	健全性の 診断結果	III (早期措置段階)	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿 命化 計画 の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①断面修復工②その他(土砂撤去・目地材充填)			
	実施予定時期	早期に対策を実施することが望ましいが、当該路線の被災状況や利用状況から総合的に判断し、対策は保留する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 利用者が限定的であるため、優先度は低とした。		
	対策費用 (概算)	①断面修復工②その他(土砂撤去・目地材充填)			
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点 検					定期点 検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0038	林道台帳整理番号	9	施設管理者	東広島市
路線名	布谷線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	布谷5号線			建設年度	S33
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	1.3km
供用年数	62	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	M33	橋格(設計荷重)		橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.9m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.3m (4.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年9月2日		
	調査結果	床版下面にかぶり不足に伴う、局部的な剥離鉄筋露出が認められる。 路面には植生を伴う土砂堆積が見られ滞水を促しており、止水性能の低下が懸念される。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R3 年度 ~ R7 年度			
	内容	①その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	当該路線の被災状況や利用状況から総合的に判断し、対策は保留する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(土砂撤去)			
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検					定期点検	

備考	
----	--